

# 海外留学・国際交流

## ケント州立大学との単位互換制度

### これまでの経緯

学部独自でかつ完全な単位互換制を目指した提携校を作ろうという学部の強い意図の下に生産工学部海外学部提携校選定委員会が1998年12月に設立されました。多くの候補校の中で、米国・イリノイ大学（UIC）、オハイオ州立大学（OSU）とオハイオ州のケント州立大学（KSU）が、わが日本大学生産工学部に大変興味を持っていることがわかり、それらの大学と授業料の問題、ESL（English as a Second Language）のクラスの有無、TOEFL（Test of English as a Foreign Language）の点数、大学・研究のレベル、そして治安の問題などに関して情報を交換して来ました。ケント州立大学は、本学部と同等レベルであることや、さらにはケントの町（人口約30,000人の小さな町で人口が半分くらい学生の）は治安も十分によいことなどを理由に、ケント州立大学との提携が実現し、1999年の6月に覚書の調印が行われました。



## その他の海外学部提携校

生産工学部では、これまで以上に教員の学術・研究交流を図り大学院生の研究交流や学部生の交流等を行うために、次のとおり学術交流の覚書の調印を行いました。学部学生の交流を行う際には、掲示等によりお知らせいたします。

### 大学の所在地

ケント州立大学は、五大湖のひとつエリー湖の近くのクリーブランド市の南にあり、クリーブランド空港から車で1時間以内、アクロン・カントン空港からは車で30分位のところにあります。

### 本学部との単位互換

留学中修得した単位は、所属学科において履修科目、講義内容・時間数などを勘案したうえで、単位を認定できる場合があります。



## 主な海外学術交流提携校等

日本大学では、諸外国の大学等と学術交流協定を結び、積極的に国際交流を展開しています。協定校は、アメリカ、カナダ、イギリス、韓国、中国など27か国1地域133大学等におよび、教職員・留学生の派遣・受け入れ、共同研究、学生の短期研修、学術情報の交換などを行っています。（別掲の図参照）

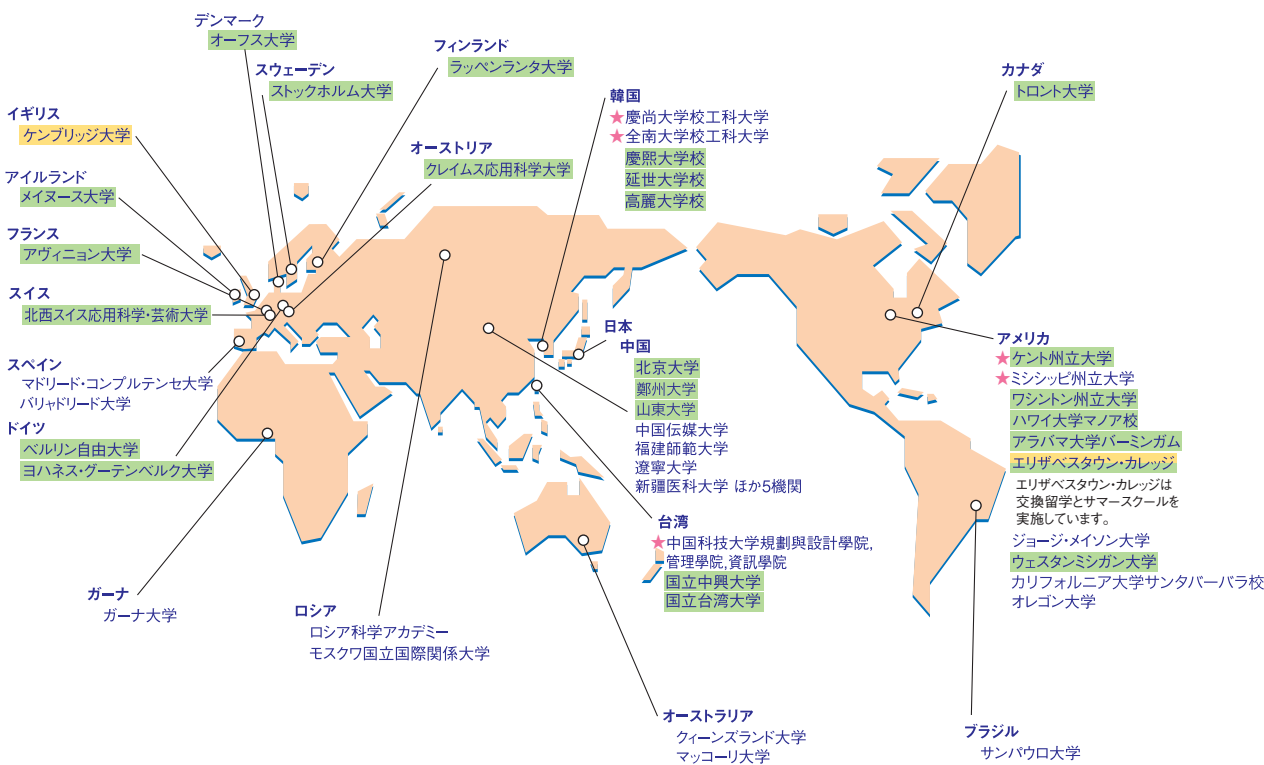
日本大学本部が主催する交換留学プログラムでは、アジア、北米、欧州の協定校に毎年学生が留学しています。

また夏季・春季休暇などを利用した大学主催によるケンブリッ

ジ大学ペンブルック・カレッジとエリザベスタウン・カレッジでのサマースクールやオーストラリア・ボンド大学でのスプリングスクールをはじめ学部・学科ごとの海外研修等活発な国際交流を実施しています。生産工学部では、提携校であるケント州立大学と留学制度を実施しています。

詳細については、教務課に問い合わせてください。

### ★本学部提携校等



### 平成 27 年度実績

#### 本学部提携校等

ケント州立大学 派遣留学生 1名  
ケント州立大学 夏季語学研修 24名

#### 本部提携校等

ケンブリッジ大学ペンブルック校 サマースクール 1名